

都内中小企業の事業資金に関する調査

金融機関の姿勢、厳しさ増す

今後の資金需要は「増加」するが4割

資金の使途は「運転資金」のみが7割

《概要》

- 主な取引金融機関の借入や返済等に対する姿勢を借入・返済DI（「緩やか」－「厳しい」）でみると、+8.9と前回調査（20年5月）の+23.8に比べ14.9ポイント減少し、厳しさが増してきた。
- 主な取引金融機関からの借入金利の傾向は「変化なし」が6割を占める。
- 最近の借入金利は「2%台」が48.2%と最も多く、次いで「3%台」30.1%、「1%台」12.9%となっている。
- 今後の資金需要は「増加」するが39.8%（前回調査33.2%）と4割の企業が資金需要は増加すると回答。
- 資金需要が「増加」と回答した企業の資金使途は「運転資金」のみが71.9%（前回調査61.1%）と10.8ポイント増加。「設備資金」のみは7.8%（同17.7%）と9.9ポイント減少。

<付帯調査回収企業数>

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	3875社	1294社	33.4%	小規模	1037社	422社	40.7%
製造業	1125社	425社	37.8%	中小規模	618社	280社	45.3%
卸売業	875社	309社	35.3%	中規模	702社	307社	43.7%
小売業	875社	259社	29.6%	大規模	544社	226社	41.5%
サービス業	1000社	301社	30.1%	規模不明	974社	59社	6.1%

1 主な取引金融機関

主な取引金融機関は「都市銀行」が59.6%と最も多く、次いで「信用金庫・信用組合」32.8%、「地方銀行」5.1%と続く。前回調査（20年5月）に比べると、「都市銀行」が2.1ポイント減少、逆に「信用金庫・信用組合」は1.3ポイント、「地方銀行」も0.8ポイント増加した。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が68.5%と他の業種に比べて多い。対照的に、小売業では「都市銀行」の割合は48.8%と少なく、「信用金庫・信用組合」が42.2%と多くなっている。

規模別にみると、「都市銀行」の割合は小規模が46.6%であるが、規模が大きくなるにつれて増加し、大規模では83.0%に達している。これに対し、「信用金庫・信用組合」の割合は大規模の8.9%から、小規模の48.6%と規模が小さくなるに従い増加している。

図表1 主な取引金融機関

		主要取引金融機関				n
		都市銀行	信用金庫 信用組合	地方銀行	その他	
全体		59.6 (61.7)	32.8 (31.5)	5.1 (4.3)	2.6 (2.5)	1282
業種別	製造業	54.6 (59.5)	34.9 (31.4)	7.8 (5.9)	2.6 (3.1)	421
	卸売業	68.5 (70.1)	26.2 (24.7)	3.6 (2.3)	1.6 (2.9)	305
	小売業	48.8 (50.4)	42.2 (42.8)	3.9 (4.7)	5.0 (2.2)	258
	サービス業	66.8 (66.0)	28.2 (28.2)	3.7 (3.9)	1.3 (1.9)	298
規模別	小規模	46.6 (49.4)	48.6 (45.8)	2.4 (3.0)	2.4 (1.8)	416
	中小規模	57.7 (60.3)	35.1 (34.4)	5.4 (4.0)	1.8 (1.3)	279
	中規模	61.9 (65.6)	27.4 (24.5)	7.2 (5.8)	3.6 (4.1)	307
	大規模	83.0 (82.7)	8.9 (8.4)	5.4 (5.3)	2.7 (3.5)	224

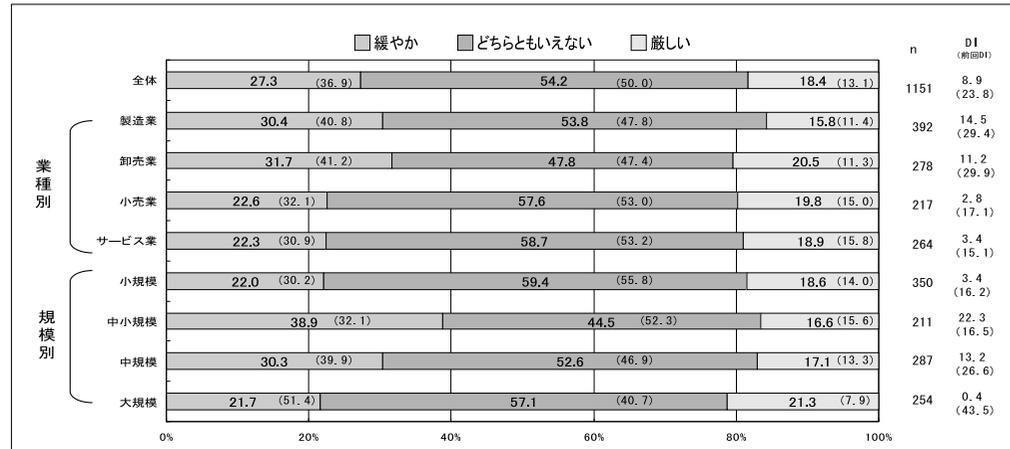
※ 無回答、規模不明を除く（以下、同じ）。カッコ内は平成20年5月調査の結果

2 主な取引金融機関の借入等に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢を借入・返済DI（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では＋8.9と前回調査（平成20年5月）の＋23.8に比べ14.9ポイント減少し、金融機関の借入等に対する姿勢は厳しさが増してきた。

業種別にDI値をみると、すべて業種で前回よりも減少したが、卸売業の18.7ポイント減が目立つ。規模別では、中小規模のみ5.8ポイント増加したが、他の規模は減少した。特に、大規模は前回調査の＋43.5から＋0.4と43.1ポイントの大幅減となった。

図表2 主な取引金融機関の借入等に対する姿勢



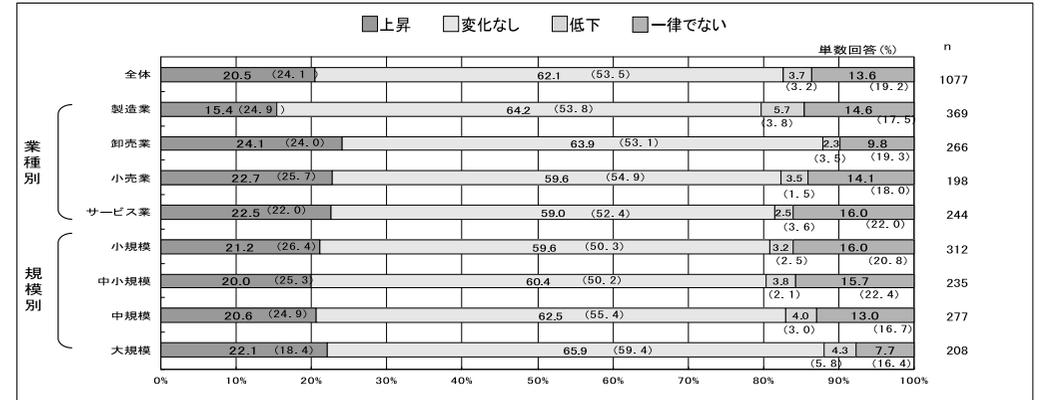
※ カッコ内は平成20年5月調査の結果。

3 主な取引金融機関からの借入金利

(1) 借入金利の傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、「変化なし」が62.1%（前回調査 平成20年5月 53.5%）と6割を占めている。「上昇」と回答した企業は20.5%（同24.1%）と3.6ポイント減少した。一方、「低下」は3.7%（同3.2%）とほぼ横ばいであった。

図表3 借入金利の傾向



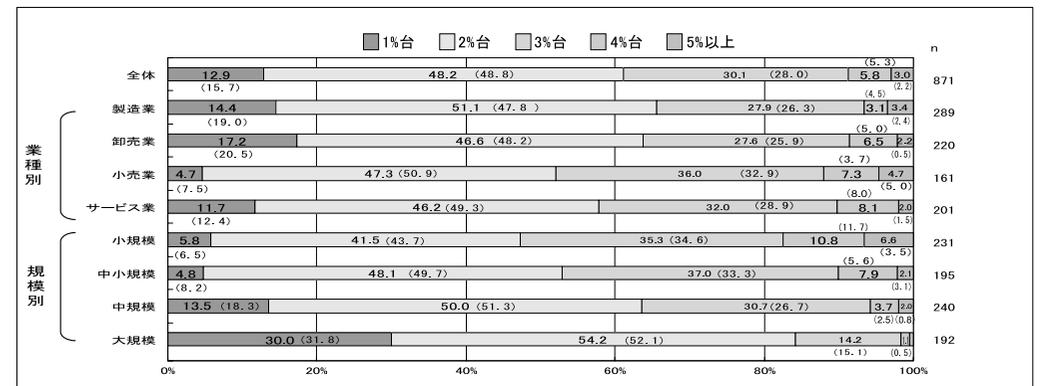
※ カッコ内は平成20年5月調査の結果。

(2) 最近の借入金利（3年超5年以下のもの、保証協会の保証付以外）

最近の借入金利は、「2%台」の割合が48.2%と最も多く、次いで「3%台」の30.1%、「1%台」の12.9%と続く。前回調査（20年5月）に比べ、「1%台」はやや減少、「3%台」はやや増加となっている。

業種別にみると、いずれの業種も「2%台」が最も多いものの、小売業、サービス業で「3%台」の割合が他の業種に比べて多い。規模別では、規模が大きくなるにつれて借入金利は低下する傾向にあり、大規模は「1%台」が30.0%と他の規模に比べて多く、逆に「3%台」は14.2%と少ない。

図表4 最近の借入金利



※ カッコ内は平成20年5月調査の結果。

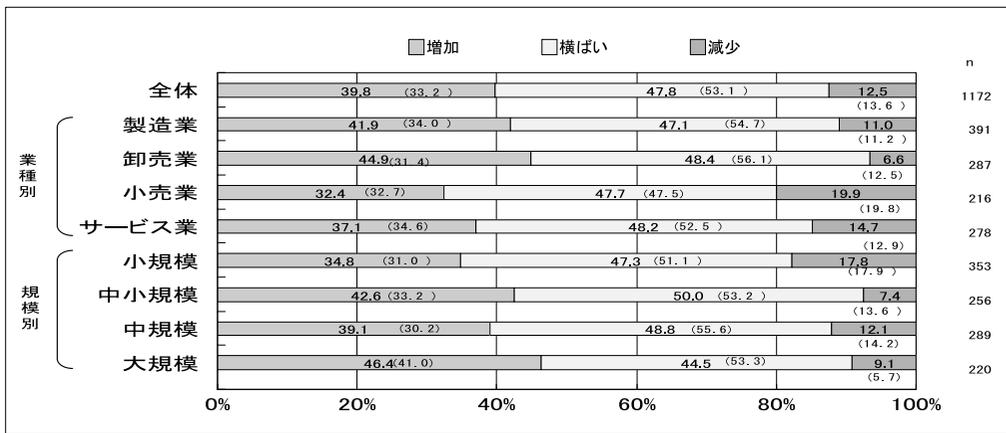
4 今後の資金需要

(1) 今後の資金需要

今後の資金需要が「増加」と回答した企業は39.8%と一年前（19年11月調査）の33.2%に比べると6.6ポイント増加した。「横ばい」は47.8%（同53.1%）、「減少」は12.5%（同13.6%）であった。

業種別でみると、小売業を除く3業種で前回調査よりも「増加」が上回っており、製造業、卸売業では「増加」が4割以上となっている。規模別では大規模で「増加」が46.4%と目立つ。

図表5 今後の資金需要

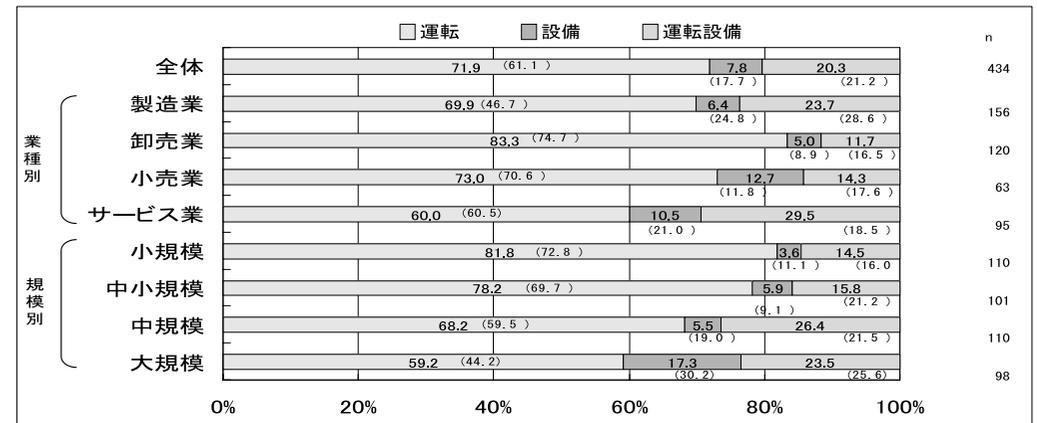


※ カッコ内は平成19年11月調査の結果。

(2) 増加分の資金用途

資金需要が「増加」と回答した企業に、その増加分の資金用途について質問したところ、「運転資金」のみが71.9%（19年11月調査61.1%）と10.8ポイント増加。「設備資金」のみは7.8%（同17.7%）と9.9ポイント減少、「運転・設備」は20.3%（同21.2%）であった。業種別にみると、製造業は「設備資金」が6.4%（同24.8%）と大幅に減少、卸売業は「運転資金」が83.3%（同74.7%）と多い。規模別では、規模が小さいほど「運転資金」の割合が多い。また、大規模の「設備資金」は17.3%（同30.2%）と大幅に減少している。

図表6 増加分の資金用途

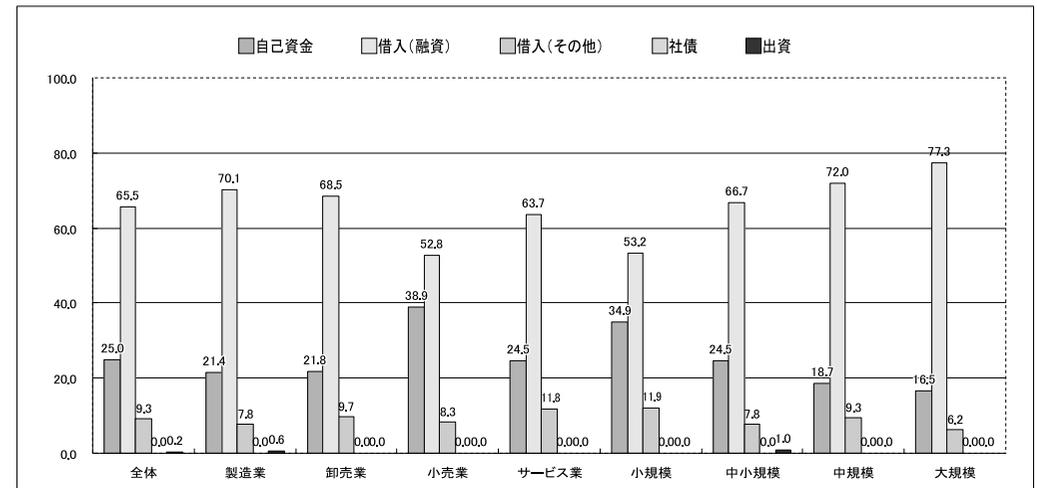


※ カッコ内は平成19年11月調査の結果。

(3) 増加分の資金調達

資金需要が「増加」と回答した企業に、その調達方法について質問したところ、全体では「借入（融資）」が65.5%（19年11月調査59.3%）を占める。「自己資金」は25.0%（同33.6%）である。「自己資金」の割合が多いのは業種別では小売業（38.9%）、規模別では小規模（34.9%）である。

図表7 増加分の資金調達



※ 前回調査の結果は割愛した。